

## 知っておきたいルール ⑦ネットオーバーの判定

### 【ゲームの状態】

ヤマダ・サトウ組とスズキ・タナカ組は、風の強い日にセルフジャッジでダブルスゲームをしていました。

**a) 相手コートのボール:** 風下のヤマダ君の打った遅いボールを、風上のタナカ君がはやってしまい、ボールがネットを越える前に、ラケットをネット越しに出してボレーをしました。タナカ君は、ネットにも触れずに、そのボレーボールはエースとなりました。ヤマダ君はネットオーバーを主張しましたが、タナカ君はポイントを主張しました。ヤマダ君とタナカ君のどちらが正しいのでしょうか。

**b) 戻ったボール:** 風下のヤマダ君の打った高くて短いボールが、スズキ・タナカ組のコートのネット際に弾んだところで風がふいて、ネットを越えてヤマダ・サトウ組のコートに戻ったところを、タナカ君がネット越しにラケットを伸ばして、ネットに触れずに返球してエースを取りました。ヤマダ君はネットオーバーを主張しましたが、タナカ君はポイントを主張しました。ヤマダ君とタナカ君のどちらが正しいのでしょうか。

**c) フォロースルー:** 風上のスズキ君は、前衛にいたサトウ君をめがけて、ストレートボールを打ちましたが、それを予測していたサトウ君は、難なくそのボールをボレーしてエースとなりましたが、ボレーの後のフォロースルーで、ラケットがネットを越えていました。スズキ君はネットオーバーを主張しましたが、サトウ君はポイントを主張しました。スズキ君とサトウ君のどちらが正しいのでしょうか。

### 【ルールは】

**a) 相手コートのボール:** プレーヤーは、ボールがネットを越える前に打ったときは失点する。

**b) 戻ったボール:** サーブされた又は返球されたボールが、相手のコートに入り、跳ね返り又は風にふかれて、ネットを越して戻ったが、それを相手のプレーヤーが、ネット越しに身体を伸ばして、このボールを打ったとしても、そのプレーヤー自身がネットに触れなければ、有効返球となる。

**c) フォロースルー:** プレーヤーが返球した後に、そのラケットがフォロースルーでネットを越したとしても、そのボールが打球される前にネットを越えていて、かつ、その返球が正しいときは、有効返球となる。

### 【正しい処置は】

**a) 相手コートのボール:** プレーヤーは、ボールがネットを越える前に打ったときは、失点なのでヤマダ君が正しい。

**b) 戻ったボール:** ヤマダ君の打ったボールが、相手のコートに入ってからネットを越して戻ったので、それをタナカ君がネット越しに打ったとしても、それは有効返球なのでタナカ君が正しい。

**c) フォロースルー:** ラケットがフォロースルーでネットを越しても、有効返球なのでサトウ君が正しい。